

# 日身連

発行所  
**社会福祉法人**  
**日本身体障害者団体連合会**  
(中央障害者社会参加推進センター)  
 発行人 阿部 かつ彦  
 東京都豊島区目白3丁目4の3  
 デアダンクビル4階  
 TEL03-3565-3399(代)  
 FAX03-3565-3349  
<http://www.nissinren.or.jp>  
**Japanese Federation of Organizations of Disabled Persons (JFOD)**  
 年間購読料 正会員1部 300円  
 非会員1部 1000円

## 日身連財政の安定化に対する検討委員会開催 委員構成新たに検討課題進め方など議論

8月24日、東京都障害者福祉会館(東京都港区)において、平成29年度第1回日身連財政の安定化に対する検討委員会(財政検討委員会)が開催され、今後の検討課題の進め方などについて議論をおこないました。

新しい役員体制のもとで開催される最初の財政検討委員会であったことから、まず委員長と副委員長の互選が行われました。互選の結果、前期に引き続き、委員長に土岐達志氏、副委員長に森正義氏が選任されました。その他の委員構成は以下のとおりです。

次に議題として、財政検討委員会の要綱の改正が検討され、委員会の任務や構成、委員の任期などについて議論を行いました。そのほか、財政検討委員会のもとに作業部会を設ける条項が新たに加わっています。

今後の検討課題として、5月30日開催の第1回定時評議員会において報告さ



財政検討委員会の模様

れた、前期財政検討委員会の報告書を元に、①分担金の見直しについて②受託事業、自主事業の拡大について③

賛助会員の拡大について④にしんれん事業所からの寄付金減少問題についての4つの課題を中心に、今後の議論の進め方などについて検討を行い、特に①については早急に検討を進めべきとの意見が多く出されました。こうした検討を踏まえ、引き続き集中した議論を行っていく予定です。

## 平成30年度障害福祉サービス等報酬改定に関する団体ヒアリング開催

平成30年度に障害福祉サービス等に係る報酬改定が行われることから、厚生労働省では厚生労働大臣政務官を主査とする「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」を開催し、公開の場で検討が行われることになりました。そして、検討チームで議論を進めるにあたっては、報酬改定等を現場の実情に即したものとするため、6月29日から7月31日の間、日身連をはじめとする47障害関係団体に対するヒアリングが行われました。

日身連は、7月31日のヒアリングに参加、飯塚善明常務理事兼事務局局長が意見を述べました。日身連からの主な意見は、より高いサービス提供をしていく上での課題等では、福祉・介護職員処遇改善加算の継続、居宅介護、同

- 《日身連財政の安定化に対する検討委員会》
- ◎土岐達志 日身連副会長(長崎県身体障害者福祉協会連合会)
  - ◎森 正義 同(宮城県身体障害者福祉協会)
  - ◎小西慶一 同(東京都身体障害者団体連合会)
  - ◎加賀時男 同(愛知県身体障害者福祉団体連合会)
  - ◎岡田和隆 同(兵庫県身体障害者福祉協会)
  - ◎福井幸夫 同(島根県身体障害者団体連合会)
  - ◎飯塚善明 日身連常務理事兼事務局局長
- ◎委員長、◎副委員長、ブロック順・敬称略

行援護及び行動援護の特定事業者加算の継続、食事提供体制加算の適用期限の延長について、また、利用者がニーズに応じたサービス提供を受けられるためのサービス提供の確保に向けた課題等では、重度障害者向けグループホームの基礎報酬と加算の拡充、グループホームの設置運営方法の違いに基づく報酬単価の考え方、訪問系サービスの格差是正のための国庫負担基準の見直しの検討について意見を述べました。

同検討チームでは、今後、来年4月の報酬改定に向け、各障害福祉サービスの具体的な方向性について議論を深めながら、年内に報酬・基準に関する基本的な考え方を取りまとめ、年度内に報酬改定案を決定する予定です。